

## γ-オリザノール

本品は、イネ *Oryza sativa* Linné (*Gramineae*)の種皮から得られ、主としてトリテルペンアルコールのフェルラ酸エステルからなる。本品を乾燥したものは、定量するとき、フェルラ酸シクロアルテニル( $C_{40}H_{58}O_4$ :602.90)として98%以上含む。

### 製造方法

イネ *Oryza sativa* Linné (*Gramineae*)のモミガラを除去した種子(玄米)を精米する際に生じる米ヌカを原料とし、その中に含有する油脂及び微量成分類を抽出する。

この抽出油中のガム質、ろう、遊離脂肪酸を除去した後、*n*-ヘキサン(JIS K8848)、無水エタノール(1級)、水酸化ナトリウム(JIS K8576)、硫酸(JIS K8951)を用いて粗γ-オリザノールを抽出する。得られた粗γ-オリザノールから*n*-ヘキサン(JIS K8848)を用いて再結晶することにより製する。

原料・米ヌカ 1000kg → 製品 0.5~1.0kg

### 性状

本品は、白色~淡黄色の結晶又は結晶性の粉末で、においは無いが、又はわずかに特異なおいがある。

### 確認試験

本品の*n*-ヘプタン溶液(1→100,000)は波長229~233nm、289~293nm、313~317nmに極大吸収部を有する。(γ-オリザノール)

本品0.01gに水酸化カリウム・エタノール試液10mLを加え、加温して溶かすとき、液は、黄色を呈する。(γ-オリザノール)

本品0.01gにアセトン2mLを加えて溶かし、塩化第二鉄・エタノール溶液(1→50)0.1mLを加えるとき、液は、黄緑色~緑色を呈する。(γ-オリザノール)

### 純度試験

#### 重金属

本品1.0gをとり、第2法により操作し、試験を行うとき、その限度は、10ppm以下である。ただし、比較液には、鉛標準液1.0mLをとる。

#### ヒ素

本品1.0gをとり、第3法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、2ppm以下である。  
乾燥減量:3.0%以下(1g,105°C,1時間)

強熱残分:0.5%以下(第1法,1g)

## 定量法

### フェルラ酸シクロアルテニル

本品を 105℃で1時間乾燥し、その約 0.01g を精密に量り、n-ヘプタンを加えて溶かし、正確に 100mL とする。この液 10mL をとり、n-ヘプタンを加えて正確に 100mL とし、層長 10mm、波長 315nm 付近の吸収極大波長で吸光度 A を測定する。

$$\text{フェルラ酸シクロアルテニル (C}_{40}\text{H}_{58}\text{O}_4\text{) の量 (mg) = (A/363) \times 10,000}$$

この規格及び試験方法において、別に規定するものの他は、外原規 通則及び一般試験法を準用するものとする。

商 品 名 : オリザガンマー® V
製造業者 : オリザ油化株式会社
愛知県一宮市北方町沼田 1 番地
発 売 元 : オリザ油化株式会社
愛知県一宮市北方町沼田 1 番地

発行日: 2014 / 08 / 27

改定日: 2014 / 12 / 15